

ぼらっと

2014年
7月24日発行
55号

発行元 〒020-0541 栗石町千刈田 82-2
栗石町総合福祉センター内
栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
☎ 692-2230/FAX 691-1140
e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp
http://www.shisha.or.jp

★ぼらっとーキング★

このコーナーでは、町内でボランティアとして活躍している、グループ、NPO、企業、学校の皆さんの声をお届けします。

第2回目は、7月12日に開催された災害ボランティア講習会に参加され、ご自身もボランティア活動に積極的に取り組んでいらっしゃる、細川仁さん(東町)、北口健一さん(駅前)、藤原瑞枝さん(林)の3名にお話を伺いました。

①皆様、お疲れ様でした。第1回目の災害ボランティア講習会を受講いただきましたが、受講してみてどうでしたか?

北口…初めてだったんですけれど、大変参考になりました。

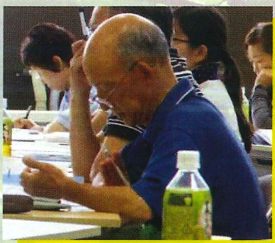
細川…実際に色々な経験から得た技術で、チェーンソーとか学ぶことが出来てよかったです。

藤原…本当に現場で動いてきた人達の臨機応変な対応も学べたし、気づいたところがたくさんありました。

②印象的な所はありましたか?

北口…倒壊家屋などから人を救助する方法です。挟まれた所から心臓に近い方を圧迫して、体に毒が回らないようにして持ち上げるといのは知識として参考になりました。

北口 健一さん



細川…あれは、初めて聞くことで、いい勉強になったね。

③昨年の8月9日豪雨災害のときもボランティア活動に参加していただきましたが、参加されたきっかけを教えてください。

藤原…私は、仕事上すぐに現場に行くことができなかったんです。女性だからというもあつたの

かもしれないですけど、すごくもどかしくて、ボランティアに参加したいと思いました。

北口…私は、東日本大震災があつてボランティア活動に行きたいと思つたけれど行くことが出来なくて。身近な栗石町で災害があつたということで、是非参加したいと思ひ参加しました。

細川…私は、「災害救援ボランティアサポーターの会」の代表をしていて、もう少し参加したかったのですが、体調の関係で申し訳なく思っています。ただ、今回の講習会をもつと広げて、馬力のある若い世代が気軽に参加できるような機会を増やしてほしいです。

④災害時、実際に活動されてみて、どう感じましたか?

細川…県外から来た若い女性が泥だらけになっているのを見ると、日本の若い人はまだ大丈夫だと思ひ始めました。実際に活動している姿を、若い世代や小・中学生に見せると気楽にボランティアに参加する人が増えるのではないかと思います。

細川 仁さん



藤原…ボランティアのネットワークが絆なんだろうなと思ひました。ボランティア活動に参加する前は、

身構えていたけれど活動してみると非力な人でもやれることはあるなと感じました。
⑤これからチャレンジしたいことはありますか?

藤原…仕事上、ジャッジが大切なのではないかと思っています。いかに迅速に情報収集をするかなど、そういうことを上手く出来る組織にしていきたいと思ひます。

細川…体力と相談しながら続けていきたいですね。

⑥皆さんにとってボランティア活動とは?

北口…いつ自分に降りかかるか分からないので、元気なうちに参加し、続けていきたいものですね。

藤原…体力はあるので、生きがいということではないですけれど、手伝えるときに手伝ってきたいです。

細川…自己満足かもしれないけれど、私のような年齢でも世の中の役に立っているのではないかなと思ひだけてもいいなあ(全員笑)。

⑦「災害に強い町づくりへ」みんな心は一つだと感じました。



藤原 瑞枝さん



お疲れのところ、ありがとうございました。バミヤッ!

ボランティア

お知らせ掲示板

福祉有償運転サポーター募集!

公共交通機関の利用が困難で、介助を必要とする体の不自由な高齢者等の通院等を支援していただける運転ボランティアサポーターを若干名募集します。



- ★ 活動日数 週2~3日
- ★ 活動時間 日中4~5時間
(通院利用者により、時間に変動があります。)
- ★ 年齢 68歳以下
- ★ 車両は、社会福祉協議会の車両を使用します。
- ※ 詳細は692-2230、担当:外村まで。



ボランティアの達人 VOL.28



今回は、「福祉有償運転サポーターの会」代表の天瀬長一さんにお話を伺いました。
(以下、質問: Q 回答: A)。

Q1 天瀬さんが運転ボランティアをはじめたきっかけはなんですか?

A1 はじめは乗り気ではなかったのですが、わざわざ誘いに来てくれて…。活動している仲間にかげられたのがきっかけです。できる範囲で協力すればいいのかなと考えが変わりました。

Q3 普段、どんな気持ちでボランティア活動を行っていますか?

A3 少しでも困っている人の手助けが出来たらと思いつつ活動しています。

Q4 運転ボランティアをやっているやりがいを感じる時はどんなときですか?

A4 利用者さんに「助かります」など、感謝される時です。喜んでもらえる「やらなくてはい」という気持ちになります。

Q2 活動するにあたって、気を付けていることはありますか?

A2 通院などをされる利用者さんを車に乗せるので、事故を起こさないように気をつけています。



ありがとうございました。



「ボランティア活動について知りたいけれど…」、「どんなボランティアがあるの?」など、ボランティア活動に関する疑問を持っている方もいるのでは?このコーナーでは、そんな疑問をお持ちの方のために、毎号掲載します。



教えて!ボランティア VOL.2

しつもん?

Q ボランティア活動をする上で気を付けることってありますか?

A はい、知っておくと役立つ**5つのポイント**がありますが、今回は**2つ**紹介します。

① **興味関心がある身近なことからはじめよう!**
自分の興味や関心がないことからはじめても長続きはしません。今の自分にできる身近な事からはじめましょう。

② **無理をしない!**
最初から欲張ってたくさんのをしようと思わず、ゆとりを持ってできることからはじめましょう。

みみより情報 「2014ボランティア体験 in いわて」

子どもから大人まで自分たちの住む地域への理解・関心を深めながら、ボランティア活動の意義を学び、継続的に参加するきっかけを掴むため、ホームページに特設ページを設置し、随時、体験できるプログラムを更新。ボランティア初心者でも参加しやすい体験内容を設定しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

- ◇ 体験期間 平成26年7月1日~10月31日
- ◇ 体験場所 県内の社会福祉協議会、社会福祉施設、ボランティア・NPO等の指定場所。
- ◇ 参加対象 ボランティアに参加したい方
- ◇ ホームページアドレス

<http://iwate-volunteer.jp>



ぶっばいボランティア



うぐいすの会が表彰されました。

精神保健ボランティア・うぐいすの会が岩手県精神保健福祉家族大会で表彰されました。精神障がい者生活教室や家族会の活動を継続して支援し、精神障がい者の理解と啓発活動に努め、地域全体の精神保健福祉の向上に貢献したことから今回の表彰となりました。



おめでとう